

練馬区みどりの基本計画改定の間まとめ 「みどり施策の新たな考え方」 案について

みどりの基本計画改定の背景

みどりの現状

緑被率は23区で**第1位**だが、**減少傾向**
約75%が民有地のみどり
 公共のみどりは増加しているが、農地や宅地のみどりが減り続けている

上位計画等

「みどりの風吹くまちビジョン」および「アクションプラン」において、みどりの総量だけでなく、**質や区民実感にも着目**したみどり施策を検討することとしている

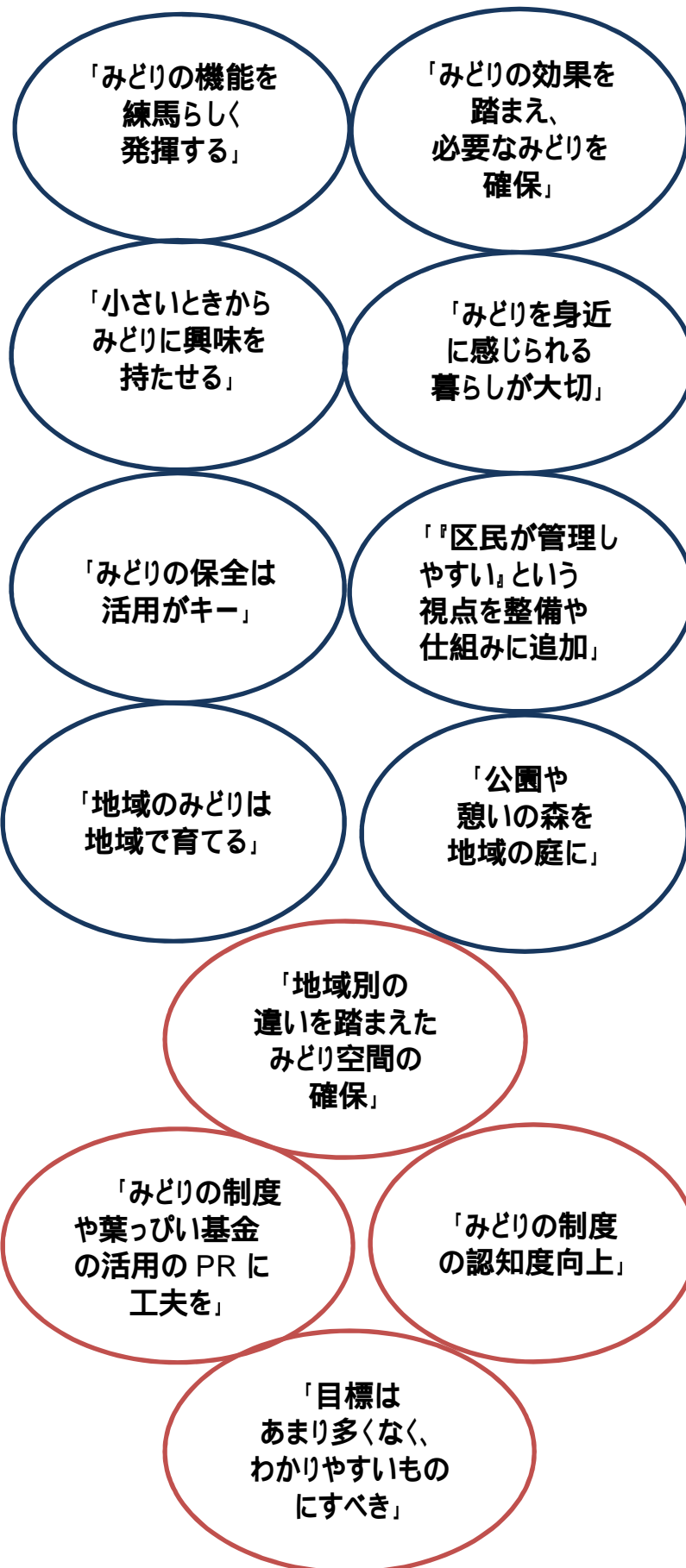
国の動向

緑被率の増加 みどりの機能増大
 一人あたりの公園面積は指標として限界
 環境改善とQOL(生活の質)の向上に資するみどりを増やす計画とする

みどり施策の課題

緑被率30%という目標は、**現実的に達成困難**
きめ細やかなみどりの管理は、行政だけでは担いきれない
民有地のみどりは、維持管理の負担や相続が原因で減り続けている

緑化委員会/みどりの区民会議/区政モニターの意見



みどりの基本計画 改定に向けた考え方

将来像の考え方

みどりの総量の確保を目的化せず、公園や街路樹、樹林地、農地といった多様なみどりの機能を、十分に発揮させる

区民がみどりを身近に感じ、みどりへの愛着が深まるように、区民による多様なみどりの利活用を推進する

公共のみどりに係る区と区民の協働に加え、みどりを介した区民同士の交流を促進し、地域のみどりを育てるコミュニティを広げる

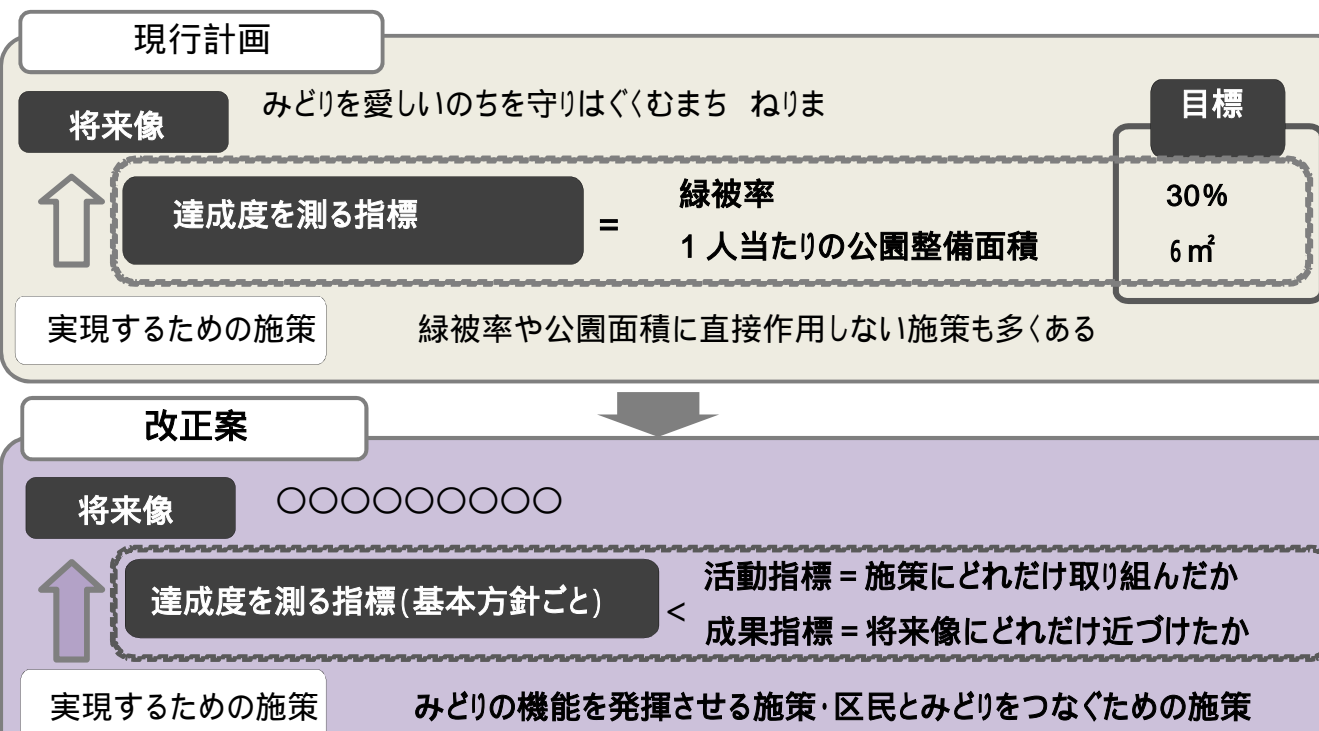
推進手法の考え方

地域のみどり特性を踏まえた地域別方針を策定する

みどり施策を区民とともに考え、実行する

みどりの魅力を効果的に発信する

みどりの機能に着目し、施策体系に即した指標と目標値の設定を行う



練馬区みどりの基本計画改定の間まとめ 「みどり施策の新たな考え方」 イメージ

テーマ：

みどりにあふれ みどりの恵みを実感できるまち ねりま（仮）

区民とともに、練馬の財産であるみどりを守り、増やし、健全に育てます。
みどりの多様な機能を発揮させることで、区民がみどりの魅力や恩恵を十分に享受し、みどりある豊かな暮らしの実現を目指します。

みどりの将来像(仮)

- ① 「区民が大切にしたいみどり」が守られ、さらに増えており、「みどりの機能」が効果的に発揮されています
- ② 幅広い世代や個々のライフスタイルに応じて、多くの区民が「自分事」として、みどりと関わる暮らしを送っています
- ③ みどりを介して人々がつながり、協働することで、みどりの活用と育成が進み、区民が快適に安心して暮らせるまちになっています

将来像から導かれる施策の基本方針(仮)

① みどりの多機能性と練馬の特性が発揮されている環境を構築するために、みどりを確保・整備します
(みどりを守る・増やす)

I. みどりのネットワーク形成

II. 環境保全機能

III. レクリエーション機能

IV. 防災機能

V. 景観保全機能

② みどりを楽しめる暮らしを実現するための、区民が積極的に参加できる多様な取組を推進します
(みどりを実感する)

③ 地域の魅力をさらに向上させるために、みどりの利活用を通じた、人と人とのつながりを育てます
(みどりでつながる)

施策の方向性(仮)

- ◇大規模公園等のみどりの拠点や河川、幹線道路の街路樹等のみどりの軸からなるみどりのネットワークの形成
- ◇練馬の原風景（農地や樹林地等）の保全を推進
- ◇生物多様性の向上につながるみどりの保全と創出
- ◇快適で暮らしやすい環境を支えるみどりの保全と創出
- ◇日常的なレクリエーションの場を充実
- ◇地域の魅力を活かした公園等を充実
- ◇みどりが持つ水害抑制や延焼防止機能の発揮と保全
- ◇災害時に役立つみどりを充実
- ◇地域の自然、歴史、風土を代表する景観の保全
- ◇まちなみ景観を演出するみどりを充実
- ◇多くの区民がみどりと関われるように、気軽な参加から継続的な協働までの機会や場を充実
- ◇次世代を担う子どもが体験できるみどりを充実
- ◇みどりを育てるコミュニティを広げるために、所有者と地域住民や活動団体などの自発的な交流や取組を支援
- ◇個人のみどりを地域の財産にするために、地域住民による管理のお手伝いを推進
- ◇みどりの支え手同士の連携や情報共有を推進

